

作物の種類		さとうきび		440		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	葉耳形態	区	観察		緩下降	直下降	上昇下降	三角	鋸歯	鉤	蹴爪	槍	鎌	種苗特性分類調査報告書の第6図参照	
2	葉舌の形態	区	観察		三角		帯		三日月		弓			種苗特性分類調査報告書の第7図を参照 NCo310及びNiF8を5とする	
3	芽子形態	区	観察		卵円	長三角	短三角	偏菱	五角	広翼卵円	円型	芽翼卵	2次翼卵	種苗特性分類調査報告書の第10図参照	
4	分けつ数	区	測定	数/平方m (小数第2位を四捨五入)										最高分けつ期に測定	
5	草型	区	観察		下垂葉		水平葉		中葉		立葉		直立葉	生育最盛期に梢頭部葉身の姿勢を観察 NCo310を5, NiF8を7とする, 種苗特性分類調査報告書の審査基準を参照	
6	出穂性	区	観察		極難	より難	難	やや難	中	やや易	易	より易	極易	収穫期の出穂茎の多少を観察 NCo310, NiF8を7とする	
7	原料茎の直立性	区	観察				湾曲	やや湾曲	中	やや直立	直立			収穫期に観察, NCo310を5, NiF8を7とする	
8	蔗茎形態	区	観察		円筒	樽	糸巻	円錐	逆円錐	湾曲				成熟期に種苗特性分類調査報告書の第9図を参照して分級する	
9	茎色 (基本色)	区	観察		白	クリーム	黄	黄緑	緑	黄褐	褐	紅	紫	収穫期に脱葉茎の葉鞘被覆部の色を記録 NCo310, NiF8を4とする, 種苗特性分類調査報告書の第1表参照	
10	茎長	10茎	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										成熟期に健全茎を上位展開葉から+5葉で除梢して調査	
11	茎径	10茎	測定	mm (小数第1位を四捨五入)										成熟期に健全茎を除梢, 脱葉し, 中央節間の中央部短径を測定	

作物の種類		さとうきび		440		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	発芽率	区	測定	% (小数第2位を四捨五入)										(発芽数/植付芽数)×100, 発芽揃期	
2	萌芽率	区	測定	% (小数第2位を四捨五入)										(萌芽数/前作の収穫株数)×100, 第1回施肥時	
3	初期伸長性	区	観察		極劣	より劣	劣	やや劣	中	やや良	良	より良	極良	仮茎長, 草丈の測定, 或いは観察により判定 NCo310を5, NiF8を7とする	
4	葉身長	10枚	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										展開最上位葉から2, 3枚目の葉身長を測定	
5	葉身幅	10枚	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										展開最上位葉から2, 3枚目の葉身最大幅を測定	
6	葉色	区	観察				淡	やや淡	中	やや濃	濃			緑色を対象, NCo310を5とする	
7	葉身花青素	区	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	生育初期に花青素 (アントシアン) の紫色色度を対象 NCo310を0, NiF8を3とする	
8	葉身毛群	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310を0とする	
9	脱葉性	区	観察		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	NiF8を3, NCo310を7とする	
10	葉耳着生位置	区	観察				上	やや上	中	やや下	下			種苗特性分類調査報告書の第6図を参照 上, 中, 下位に分類, NiF8は3とする	
11	葉鞘長	10枚	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										展開最上位葉から6葉位の葉鞘長を測定	
12	葉鞘色彩 (花青素)	区	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	生育初期に花青素 (アントシアン) の紫色色度を対象 NCo310を0, NiF8を3とする	
13	葉鞘ロウ質物	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	成熟期に観察 NCo310を5, NiF8を7とする	
14	葉鞘毛群	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310及びNiF3を0, NiF8を1とする, 成熟期に観察	
15	蔗茎ロウ質物	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310を5, NiF8を7とする, 成熟期	

作物の種類		さとうきび		440		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
16	蔗茎肥厚帯形態	区	観察		三角	下降三角	角三角	上昇三角	広四角	長四角	上昇小舌	三日月	広三日月	種苗特性分類調査報告書の第5図参照 NCo310及びNiF8を2とする,生育中期	
17	蔗茎海綿化程度	10茎	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	成熟期に健全茎を除梢,脱葉して,中央節間の中央部を切断 NCo310及びNiF8を0とする	
18	蔗茎髓孔程度	10茎	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	成熟期に健全茎を除梢,脱葉して,中央節間の中央部を切断 NCo310,NiF8を3とする	
19	芽子着生位置	区	観察				低	やや低	中	やや高	高			根帯上部線に対する芽子先端の上下の程度 NCo310,NiF8を6とする	
20	芽子の突出度	5茎	観察			やや凹	水平	やや水平	中	やや凸	凸	より凸	極凸	NCo310を6, NiF8を8とする	
21	根帯の幅	区	観察		極狭	より狭	狭	やや狭	中	やや広	広	より広	極広	NiF8を4, NCo310を5とする	
22	芽翼の発達程度	5茎	観察		極狭	より狭	狭	やや狭	中	やや広	広	より広	極広	NiF8を5, NCo310を6とする, 成熟期	
23	気根発生節数	5茎	測定	節数/茎 (小数第2位を四捨五入)										気根発生節数を地際部より調査	
24	出穂早晩性	区	測定	年月日										出穂日を調査	

作物の種類		さとうきび		440		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	モザイク病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する 5～8月, NCo310は3, NiF8を7とする	
2	黒穂病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する 人工接種とは場感染度により総合判定,10～12月,NCo310は1,NiF8は7とする	
3	梢頭腐敗病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する 7～9月	
4	葉焼病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,10～12月 NCo310を5,NiF8を7とする	
5	葉片赤斑病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,6～10月 NCo310を3,NiF8を7とする	
6	さび病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,7～11月 NCo310を7とする	
7	黄さび病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,7～11月 NCo310を3,NiF8を7とする	
8	風折損莖率	区	測定	%(小数第2位を四捨五入)									(折損莖数/調査莖数)×100により算出,台風直後		
9	耐旱性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	早ばつによる生育阻害, 枯死葉の発生程度を観察 早ばつ時期 NCo310を7とする	

作物の種類		さとうきび		440		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	白条病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,5~7月 NCo310を7とする	
2	メイ虫食入率	区	測定	% (小数第2位を四捨五入)										(食入茎数/調査茎数)×100,6月	
3	倒伏度	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	極多	甚	0:90%以上直立, 3:25%倒伏, 5:50%倒伏, 7:75%倒伏, 9:全面倒伏 収穫期前	
4	耐霜性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			弱:全葉, 生長点とも枯死, やや弱:梢頭部のみ生存 中:葉身の半数枯死, やや強:葉身に赤褐色条斑 強:被害は殆ど見られない, 降霜1週間後に観察	
5	亀裂節間率	10茎	測定	% (小数第2位を四捨五入)										成熟期に健全茎を除梢, 脱葉し, 全節間数, 亀裂節間数を測定し, 亀裂節間率 = (亀裂節間数/全節間数) × 100を算出	
6	わい化病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種により判定. Ni9は3, NiF8は7とする	

作物の種類		さとうきび		440		3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	蔗茎収量	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)										原料茎として調整後秤量	
2	蔗汁ブリックス	10茎	測定	% (小数第2位を四捨五入)										搾汁をブリックス計で測定,成熟期	
3	蔗汁糖度	10茎	測定	% (小数第2位を四捨五入)										搾汁をホーン法で測定,成熟期	
4	蔗汁純糖率	10茎	算出	% (小数第2位を四捨五入)										(糖度/ブリックス)×100,成熟期	
5	繊維分	10茎	測定	% (小数第2位を四捨五入)										(バカス繊維重×総バカス重)/(試料バカス重×原料茎重)×100	
6	登熟早晩性	区	測定		極早	より早	早	やや早	中	やや晩	晩	より晩	極晩	搾汁のブリックスあるいは糖度を収穫期前(11月)から終期(5月)まで隔月調査 NiF8を3, NCo310を6とする	
7	収量構成型	区	観察		茎数型		やや茎数型		中間型		やや茎重型		茎重型	成熟期の茎の太さ, 茎数を観察して判定 NCo310を3とする	

作物の種類		さとうきび		440	3次選択項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	地域適応性	区	その他				狭	やや 狭	中	やや 広	広			収量, ブリックスによる地域間差 NCo310を7とする